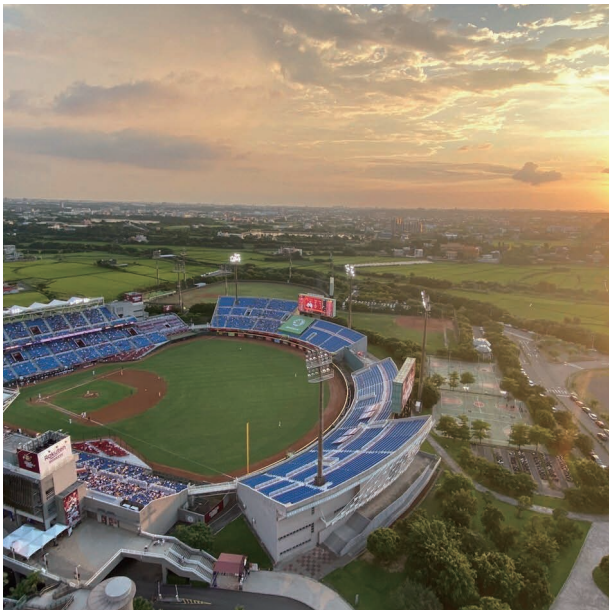

SNET台湾　みんなの台湾修学旅行ナビ
https://taiwan-shugakuryoko.jp/spot_north/440/

エリア

桃園市

テーマ

歴 史　スポーツ

桃園國際棒球場

桃園国際野球場

台湾初の国際規格を満たす野球場で、台湾の野球文化と野球を通じた日台交流を学ぶ

桃園国際野球場は、2009年に完成した台湾初の国際規格を満たす野球場です。2011年からは台湾のプロ野球チームである楽天モンキーズ（旧ラミゴ・モンキーズ、2020年より楽天が100%株式買収し、日本でも話題になっています）の本拠地球場として利用されています。台湾では野球がとても盛んで、各地に球場がありますが、近年、この球場ではアジアシリーズなどの国際大会も行われています。球場の外観が現代的で、球場内のフードコートでは様々な台湾B級グルメを味わえます。「楽天ガールズ」と呼ばれる専属チアグループのパフォーマンスも評判で、台湾だけでなく、海外からも多くの野球ファンが訪れます。

学 び の ポ イ ン ト

1.

野球は台湾でどのような位置付けのスポーツか？

台湾に野球が伝わったのは日本統治時代です。高校野球などを中心に、台湾で数々の野球チームが作られ、日本内地のチームとも試合をしました。なかでも、1931年に甲子園に初出場した嘉義農林の快進撃は有名で、最近では映画（『KANO 1931海の向こうの甲子園』）にもなり、再び注目が集まっています。戦後はバスケットボールなど他のスポーツの人気に押されますが、1970年代には世界少年野球大会で台湾のチームが何度も優勝し、国際的に孤立しつつあった台湾の人々に希望を与えました。そこで活躍した選手たちが、1980年代以降は成年野球で活躍し、1990年に台湾のプロ野球リーグが発足しました。今では、野球はバスケットボールと並んで、台湾で最も親しまれているスポーツです。

2.

野球を通した日本と台湾の交流にはどのようなものがあるか？

台湾での野球の歴史は日本と切っても切れず、日本統治時代に多くの日本人と台湾人が野球を通じて交流していました。戦後も、台湾の野球人は日本式のやり方で、少年野球などを支え続けました。今日では、台湾と日本の代表チームは、少年野球でも青年野球でも、国際大会において良きライバル同士です。代表チームや個別のチーム同士の交流試合もたくさん行われています。また、プロ野球での人的交流も盛んで、日本のプロ野球チームではこれまで多くの台湾人選手が活躍してきました。そして、日本企業の楽天がモンキーズを買収したことで、日台プロ野球の交流がさらに進むことが期待されています。